

An analysis of the factors of medical errors perceived by nurse: factor exploitation and model construction

メタデータ	言語: eng 出版者: 公開日: 2017-10-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大内, 隆, Ohuchi, Takashi メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/28532

博士論文審査結果報告書

報告番号 医博甲第2183号

学籍番号 0627022004

氏名 大内 隆

論文審査員

主査(教授) 稲垣 美智子



副査(教授) 須釜 淳子



副査(教授) 塚崎 恵子



論文題名 An analysis of the factors of medical errors perceived by nurses :factor exploitation and model construction: (看護師における医療過誤要因の意識分析—要因探索とモデル作成—)

論文内容の要旨

本研究は、実際に医療過誤を起こした看護師を対象に医療過誤要因を明らかにし、さらにその要因間相互の関連モデル作成することにより、医療過誤の起こり方を考察した。方法は、医療過誤防止目的の看護師への教育研修を実施している等の基準を満たす8つの病院に勤務する看護師で、医療過誤経験した1053名を対象にして、自記式質問紙調査を行った。質問紙は23項目に4件法のリッカート式での回答とした。その結果1) 看護師経験年数による医療過誤経験は5年未満と5年以上で異なっていた。2) 探索的主成分分析により、看護師経験5年未満の医療過誤要因は、「心身不調」、「集中不可能」「労働環境不良」「錯誤業務」「振り返り」の5因子、累積寄与率63.4%、看護師経験5年以上では「体調管理」「業務変動」状況判断不能」「士気消失」の4因子、累積寄与率56.8%で特定された。3) 共分散分析により、看護師経験5年未満では、「労働環境不良」が「心身不調」および「集中不能」「振り返り」の原因要因であり、「錯誤業務」とは相関関係にあるパス図(パス係数0.5以上の寄与、GFI:9.7等の適合度指数)が成立し、看護師経験5年以上では「業務変動」が「体調管理」および「士気消失」の原因要因であり、「状況判断不能」とは相関関係にあるパス図(パス係数0.4以上の寄与、GFI:1.0等の適合度指数)が成立した。いずれも非常に高い適合度で、現象を説明できるモデルとして示された。

審査結果の要旨

本研究は、実際に医療過誤を起こした経験者を対象に、これまで単独の医療過誤要因としてとらえられてきた要因を複数の要因が重なり合った新たな要因として解明し、それらの要因間の関連を因果関係や相関関係、背景因子で説明するモデルで示した。医療過誤経験者を対象とした解析であること、複数の要因の重なりに着目しそれを証明できたこと、適合度の高いモデル作成による要因間の関連を示すモデル作成ができたことは独創的な研究であると評価する。また今後の看護師の医療過誤予防対策に影響を与え、また看護の安全教育分野の発展に寄与すると評価する。よって本論文は博士論文にふさわしく、博士(保健学)の学位を授与するに値すると評価する。